衛生管理の改善で疾病予防を

多い傾向にあり、衛生管理の徹底 生物質の混入事故も例年になく ると出荷停止だけでなく、洗浄化 左右します。また、バルク乳へ抗 まで時間を要し、経営の存続をも の伝染病が増えています。発症す と治療牛の確認が求められます。 サルモネラ症やヨーネ病など

衛生管理を高める

畜舎環境を良くすることが肝要 ウイルスなどの蔓延を防ぐため、 伝染病を予防するには、細菌や

症にならないよう注意を払いま ロタなどのウイルスによる感染 の下痢が発症しやすく、コロナや また、季節の変わり目は、子牛

-ターカップは清潔に



タカッ

混入事故を防ごう

しょう。

そのためには、①畜舎内のホコ

が重要です。 事です。抗生剤をどの牛にどの乳 房に射したかを確認し合う作業 できちんと伝達されることが大 は、マーキングや家族や作業者間 乳房炎など治療している牛に

乳房炎を予防しよう

にならないような飼養管理を行 事故を未然に防ぐには、乳房炎

 \mathcal{O} ゃ 畜 の

床 石

> 散布④踏み込み槽の設置⑤パド ック泥濘化の修繕などを行うよ うにしましょう。



ます。





写真3 良質なサイレージを

析値を確認し、給与量を見極めま まずは粗飼料分析を行って、分

よう。

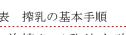
では、感染を起こす恐れがあるの

搾乳時、牛を扱う人の手が不潔

で、手袋を装着するようにしまし

うメーカー任せにせず自ら確認 殺菌剤濃度の確認とミルクチュ いとねじれていることがない ーブやライナーを定期的に交換 ていなければなりません。洗剤や 搾乳機器は正しく洗浄・殺菌され しましょう。交換時、付け方が悪 (2) 搾乳機器のメンテナンス ミルカーやパイプラインなど

肝臓を壊して免疫力が低下する うことが大切になります。 ため、乳房炎に罹患しやすくなり 房炎を助長します。 カビやアンモ ニア態窒素が高いサイレージは (1) サイレージ品質の確保 不良発酵したサイレージは乳



前搾りで乳汁を確認 っかり 4~5回)

- 乳頭のみを清拭
- 乳頭乾燥
- 60~90 秒後ライ 装着
- 搾乳後、 (5) ライナー

で正しく管理しましょう。 ルカーは使う用途が限られるの をしましょう。また、バケットミ

正しい搾乳手順の励! 行を

3

あると冷却効果が低下するので

ルク室は冷凍機周囲に物が

整頓しましょう。

